

農業委員会だより

* * * 育てよう、農業後継者！！* * *

第40号

平成28年7月1日

〈編集・発行〉

瑞穂町農業委員会

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335

042-557-7630(直)

『第57回東京都農業委員・農業者大会』受賞者の紹介

平成28年2月26日に昭島市のKOTORIホールにおいて、今年で第57回を迎える東京都農業委員・農業者大会が開催されました。受賞された方は次のとおりです。おめでとうございます。



〔企業的農業経営顕彰者〕

栗原 吉徳・清美 さん
住所 駒形富士山
経営部門 花き
東京都知事賞受賞



〔農業功労者表彰者〕

栗原 増夫 さん
住所 駒形富士山
経営部門 養豚・養鶏



平成2年にご両親の農業経営に参画され、花き生産を行っておられます。お客様に楽しんでいただけるように白×ピンクのような複色系やフリンジ等新種を積極的に取り入れ、温室内が常に華やかな状態になるように心がけて育てられています。

現在は、瑞穂ブランド特産品（シクラメン）の認定者としての活動にも参加され、みずほ育ちのシクラメンのPRにも尽力されています。瑞穂町の消防団を16年間、農業協同組合花卉部会の瑞穂支部長を務められるなど様々な分野で活躍されています。

昭和28年に就農し、当時は、養豚・養鶏の経営をしておりました。昭和35年から平成7年までは、養鶏を専門で営んでいました。昭和38年（第3回）企業的農業経営顕彰において経済農協連会長賞を受賞しております。意欲的に農業経営をされていた一方、平成6年から平成19年までの12年間瑞穂町都市計画審議委員を務め、委員長として町の都市計画に貢献されてきました。また、平成7年、8年度には町内会長を務められました。瑞穂町農畜産物直売所の会員になり、直売所の副会長、農業経営者クラブの会長も務められ、町の農業振興に尽力されました。



〔農業後継者顕彰者〕

森田 貴之 さん
住所 長岡長谷部
経営部門 野菜



平成20年に父親の農業経営に参画し、野菜生産に取り組んでいます。就農から年数を重ねるごとに仕事内容も増え多忙になるなか有機肥料を使用し、減農薬で体にやさしい野菜を育てる事に充実感を感じているそうです。今後、地域グループ活動や新たな販路の開拓などの取り組みを積極的に考えられています。

農業委員会法が改正されました

農業委員会等に関する法律が改正され、平成28年4月1日より施行されました。主な改正内容は下記のとおりです。
なお、現在の瑞穂町の農業委員の任期は平成29年7月19日となっているため、任期満了後新体制へ移行予定です。

○農業委員会業務の重点化(農地利用最適化の推進)

従来からの認定業務に加え、農地等の利用の最適化の推進が重要な業務に位置付けられました。

○農業委員の選出方法の変更

(1)これまで選挙による選出をしていましたが、
改正後は、地域等から候補者の推薦・募集を経たうえで、町議会の同意を得て、町長が任命する
方式に変更になります。

(2)農業委員の過半数は原則として認定農業者になります。※例外あり

(3)農業者以外の者で、中立的な立場で公正な判断をすることができる者を1名以上いれること

○農地利用最適化推進委員の新設

農業委員と連携し、農地の賃借促進、耕作放棄地発生防止・解消といった現場作業を行います。

現 行

選 挙

町長による選任

改 正

推薦・募集

議会の同意

町長による任命

農地を貸したい方へ

農地の利用権設定(農業経営基盤強化促進法)について

農地の利用権設定とは瑞穂町と農業委員会が貸してと借り手の間に
入り賃借を成立させます。利用権設定までの流れは以下のとおり
になります。

農地の利用権設定までの流れ

貸し手

借り手

農業委員会 両者の意向をとりまとめる

瑞穂町・農業委員会が手続きを行う

農地利用集積計画の作成(瑞穂町)

農業委員会の決定

農地利用集積計画の公告(瑞穂町)

賃借の成立

期限が来れば返還

貸し付けた農地は、貸付期限
終了後、賃借権は消滅します。
※継続して貸すこともできます。

農地の利用権設定のメリット

【貸し手のメリット】

- ①瑞穂町と農業委員会が仲介に入る所以安心簡単に農地の貸し借りができる。
- ②貸した農地は設定期間が終了すれば自動的に返還される。

【借り手のメリット】

- ①経営規模の拡大を図ることが、賃貸借期間が明確なため、安定的な営農計画が立てられる。

農地管理パトロールの実施について

農業委員会では、
パトロールを年に2回
(6月・8月)実施し、農地の適正管理をお願
いしています。雑草等
で適正管理ができてい
ないと近隣の土地所有者の迷惑になるばかりか、不法投棄の原因にもなります。農地の
適正管理の徹底をお願いします。



農地転用には許可・届出が必要です

農地を宅地等の農地以外に利用する場合は、許可申請・届出の一定の手続きが
必要です。農地の転用には、法律により
規制がありますので、一時的な場合も含め、事前にご相談ください。



農薬散布について

風向きや時間帯等を考慮し、周りの方
への迷惑にならないようお気を付けてください。近隣とのトラブルの原因にもなり
ます。また、病害虫の防除を行う場合には、常日頃から使用している農薬であつても、
使用前に農薬のラベルを逐一確認し、適切な使用をお願いします。

全国農業新聞賞を受賞しました



全国農業会議所・全国農業新聞主催の「第21回全国農業新聞農業委員会大賞コンクール」において、瑞穂町農業委員会が編集・発行している農業委員会大賞（平成27年7月1日発行第38号）が全国農業新聞賞を受賞しました。今後も、農業に関する情報を分かりやすく提供するとともに、親しみやすい紙面を目指し、努めてまいります。



建議書を提出しました

「瑞穂町農業施策に関する建議書」を瑞穂町へ提出し、農業施策に関する3項目について要望しました。

- ①地域農業の体制強化と若手農業者等、担い手の育成支援策について
- ②地産地消の推進について
- ③生産緑地制度の導入について

今後も「農地等の利用の最適化の推進」に関する施策の改善について、農業者の意見を汲取り、必要がある場合には、関係行政機関等に対し意見の提出を行っていきます。



全国農業新聞

週刊 毎週金曜日発行
購読料 月700円

農業者の視点で編集発行している農家のための新聞です。
申込は農業委員会へ！

★ 農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農業者のための公的年金で、自分の納めた保険料とその運用益を原資として将来支給される「確定拠出型年金」です。

老後の生活に備え、農業者年金への加入についてご家族で話し合ってみませんか。

農業者年金の特長・メリット

- 20歳以上、60歳未満の国民年金1号被保険者、年間60日以上農業に従事している方（配偶者・後継者も可）が加入できます。
- 保険料の額が自由に決められます。（月2万円～6万7千円の間で千円単位）
- 終身年金で80歳までの保証付きです。
- 税制面の優遇措置があります。
- 担い手を対象に保険料の国庫補助があります。



農地を相続された方へ

農地法第3条の3の規定による届出書

相続等により農地の権利を取得した者は、農業委員会にその旨を届出することが必要となります。届出書類は農業委員会事務局（瑞穂町都市整備部産業課内）にあります。

新しい仲間を紹介します☆



「自分の子どもが農業したいと思ってもらえる農家になりたい」
平成28年1月に瑞穂町で新規就農された
川久保 敦史さん（31歳）

Q就農したきっかけは？

A:介護施設に勤務していた際に、妻の知り合いが瑞穂町で農家をしていて、仕事の合間に手伝いに行くうちに農業の魅力に惹かれ農家になりたいと思いました。

Q現在の営農状況は？

A町内の約35アールの農地でレタス類、ブロッコリー、トマト、オクラ等を栽培しています。出荷先は、量販店です。

Q新規就農してどうでしたか？大変だったことは？

A大変だったことは、就農して4ヶ月になりますが、失敗の連続で思ったように収穫できなかったことです。失敗した経験により、畑に適した農薬、肥料の量の見極めが出来たので今後の作付けに活かしていきます。

Q将来の夢、または計画は？

A畠の規模を将来的には100アール位まで拡大し、露地野菜と施設野菜を組み合わせた営農経営を目指していきたい。

取材・記事：西村 一

★川久保さんからのお願い★
貸していただける農地があり
ましたら貸していただきたい
そうです。貸していただける
方はお近くの農業委員また
は事務局までご連絡お願
いします。



農業委員会事務局職員の異動について

事務局職員の異動があったため、お知らせします。

○平成28年4月1日付け人事異動

(旧)山田 亜由美 事務局…管財課へ
(新)内野 大輔 事務局…建設課より
よろしくお願ひいたします。



東京みずほブランド



5月8日に開催された「第7回残堀川ふれあいイベント」で東京みずほブランド認定書授与式が行われ、東京みずほトマトの会の『東京みずほトマト』と都立瑞穂農芸高等学校の『瑞穂七色唐辛子』が東京みずほブランドに認定されました。

東京みずほトマト



6件の生産農家で結成された『東京みずほトマトの会』がハウスで栽培するトマトで、酸味と甘味のバランスが良い高品質なトマトは贈答用としても販売されています。庭先販売の他、直売所、量販店でも販売を行っています。

瑞穂七色唐辛子

農芸高校食品科の生徒と瑞穂町の若手農家やJAIにしたまと連携して開発したもので、江戸東京野菜の『内藤唐辛子』を使用している他、全ての原料を瑞穂町産を使用しています。



編集後記

農業王国といわれる熊本県では、去る4月14、16日と震度6強の大震災が発生し、住宅・農業施設の倒壊をはじめ、農地の広範囲な地割れ、段差、崩壊があり甚大な被害を受けました。その後も続く余震により、車中生活を余儀なくされている方もおられます。農業経営者をはじめ被災された多くの皆様の早期復興をこころより願うものです。

さて、紙面でも紹介したとおり、日頃の努力が実を結び、新たに東京みずほブランド2品が認定されました。おめでとうございます。また、東京都農業委員・農業者大会で表彰された3名の皆様、今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

最後に、本たよりへの身近な話題やご意見、ご要望等がございましたら本委員会までお寄せ下さいます様お願い申し上げます。

（池和田 貞夫）

編集委員長 池和田 貞夫

編集委員 村山 宣幸 藤本 昇
雨宮 敏昭 西村 一